

経常収支比率が  
全国ワースト4位だ



無党派（無所属） 甲斐 よしと

国分寺市は直近の決算値において、経常収支比率が全国805市区中、ワースト4位の101.5%。あの大阪市の6位をも上まわっている。しかも生活保護率が高い大阪市の比国分寺は東京26市中、毎年保護率最低の優等生だ。これは何を表しているかと言えば、星野市長は改革を自費し再々選まで果したが、成果の真偽は数値が語っている。市民は頑張っているのに、市長は成果を出していないという事だ。

真の改革は進んでいない

一例を挙げれば、2006年新設の東元町さわやかプラザ内の風呂施設および市内同様の憩の家、風呂事業だ。私は新設施設に風呂はいらぬどころか全廃すべき古い福祉だと反論した。武蔵野市は銭湯の入浴料を補助し、開店前に介護予防体操を広めている例も示し、そばに銭湯もあり民業圧迫だとも申しあげた。改革を標榜する市長なら決断して担当に指示してくれと申しあげたが、担当に丸投げした。私は担当を追いつめたが、男女別の2つの風呂を曜日別に使って1つに縮小、足湯もやめて、私が提案していた介護予防のリハビリ室へと変更されたが、全廃すべき事業が新設されてしまった。しかしこの11月の厚生委員会にて、担当より風呂事業の全廃を含む生きがい事業の再構築案が示された。生きがい事業が民間への指定管理化できないことからの皮肉な結論だ。新設事業を5年も経ず終了せざるをえない責任を問うても委員会同様、市長の責任ある答弁は無かった。

手段が目的化・目標化している空虚な星野市政

改革も指定管理化も本来、手段にすぎないはずだ。市長の姿勢が職員にも反映してしまっている。本来の目標を突きつめるために見習うのは、荒川区民幸福度という指標を先進の例として提案しました。

中学校の内申点の説明責任を果たすべき

内申点は子どもの将来を左右することは共通理解であろう。9月の決算特別委員会でも申しあげたが、生徒・保護者の不満に対し、数値化して説明責任を果たせるように求めました。

職員の意識改革は  
まず市長の意識改革から！



政策民主会議国分寺 木村 徳

木村＝職員の超過勤務に関し、7～9月は節電対策として原則全日残業禁止で、前年同月比で21.5%削減となったが、禁止が解かれた10月になると同4.9%と大きく後退した。効率的な業務を行おうという意識が希薄な、職員の問題であると認識する。改めて全日超過勤務禁止を。総務部長＝しばらく月水金の3日間禁止で様子を見たい。（※この答弁の「様子見」などという意識こそが今の国分寺市役所の非効率な業務の根本原因であります。また、超過勤務手当の予算配当は前年実績で査定を行なっていることも「残業した者勝ち」の状況を作り出していると指摘し改善を求めました。）

木村＝職員研修に関し、計画－実行－検証－改善、すなわちPDCAサイクルのうち、計画と実行のみを繰り返しており、検証や改善を行っていないからこそ、全く成果が上がらない。

総務部長＝24年早々に検証や改善できるように抜本的な見直しをし、その下で進めていく。

木村＝24年度予算編成で、追加で15億1千万円の削減を市長は各課に求めたが、本来は市長の政策判断で表明すべきことだ。事業廃止等で批判が出ることも想定されるが、それを受け止め、説明責任を果たすのが市長ではないのか！

市長＝議員とは認識が違う。各担当に努力してもらい、如何ともし難いとなったら私が判断する。（この市長の認識は根本的に間違いです。そもそも公約を掲げて何を実現し変えるのかを市民に約束し信任を得たのは市長です。職員は市長の考えを事務的に実行するに過ぎず、政策判断する立場でなく権限もありません。皆さんはどちらが正しい「認識」と思われますか？）

木村＝北口再開発に関し、36億円の保留床取得に関し、市負担の全額解消を求めてきた。その後、登録事業者制度を導入した結果は如何か。

開発部長＝その部分の市の負担はゼロになる方向だ。（市長はスケジュールのみを優先し、知恵も出さずに36億円の内、21億円を市が負担してでも強引に進めようとしたが、再検討をさせた結果として21億円の経費削減ができました）

陳情の審査結果

第4回定例会には陳情2件が提出され、継続中の10件と併せて審査した結果、採択1件、不採択1件、継続10件となりました。

《採択となった陳情(付託先)》

陳情第23-5号「庁舎建設基金の設置を求める陳情」  
(総務委員会)

《不採択となった陳情(付託先)》

陳情第23-12号「保育サービスの整備・運営及び提供体制に関する全体計画(案)に対する陳情」  
(厚生委員会)

《継続となった陳情(付託先)》

陳情第23-2号「ぶんバス東元町ルートの増便及び時間延長を求める陳情」  
(建設環境委員会)

陳情第23-3号「リフォーム助成制度の創設を求める陳情」  
(総務委員会)

陳情第23-6号「都民のための食肉処理場を整備するまで八王子食肉処理場を存続させることに関する陳情」  
(総務委員会)

陳情第23-7号「災害時の緊急食糧として家畜を活用する仕組みの構築に関する陳情」  
(総務委員会)

陳情第23-9号「恋ヶ窪地区に集会施設の確保を求める陳情」  
(総務委員会)

陳情第23-10号「西国分寺, 都有地にサッカーのできる多目的グラウンドの設置を求める陳情」  
(文教委員会)

陳情第23-11号「東元町循環ぶんバスルートの路線の一部を変更し, 高齢者施設「さわやかプラザもとまち」前に停留所新設を求める陳情」  
(建設環境委員会)

陳情第23-13号「小金井市との可燃ごみの共同処理に関する陳情」  
(ごみ対策特別委員会)

陳情第23-14号「議会の改革に関する陳情」  
(議会運営委員会)

陳情第23-15号「国分寺市プレイステーション(冒険遊び場)増設に関する陳情」  
(文教委員会)

賛否の分かれた議案に対する議員の表決状況

議案名	議員名																								
	会派名				自民党新政クラブ	公明党	政策	共産党	ネット	無党派															
	楠井	田中	本橋	新海	井沢	須崎	高橋	さの	なのお	木島	皆川	木村	三葛	及川	幸野	岡部	中山	片畑	高瀬	岩永	おさわ	いとう	釜我	甲斐	
議案第92号 人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号 国分寺市立児童館条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号 平成23年度国分寺市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第109号 平成23年度国分寺市国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第118号 指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第119号 指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第123号 平成23年度国分寺市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第124号 国分寺市国民健康保険条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第125号 国分寺市立学童保育所条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

・表決(○=賛成 ×=反対 退=退席)  
・会派名(政策=政策民主会議国分寺、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク)